関西歌劇団Presents　G.プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」によせて　出演者紹介

■関西歌劇団
1949年春、指揮者・朝比奈隆を中心に関西の声楽家が集まり、旗揚げ公演「椿姫」で発足。その後年間2回グランドオペラ中心の定期公演のほか数々の公演を行う。1954年、歌舞伎調の「お蝶夫人」公演を機に「夕鶴」や「修禅寺物語」、「赤い陣羽織」（100回公演）といった邦人作品の初演にも力を注ぐ。現在は創作ものを含め、年3回の自主公演を柱に、常に注目すべきオペラ活動を展開。
団員数は約200名。

■ソプラノ　有田　輝子（ありた　てるこ）
相愛高校音楽科卒業。相愛大学音楽学部声楽学科卒業。卒業演奏会にそれぞれ出演。関西歌劇団サロンオペラ「愛の妙薬」アディーナ役にてデビュー。貴志康一生誕100年記念オペラ「ベルリンの月～貴志康一物語～」ヒロイン、マリア･フィヒテ役にて出演。大阪大学オペラ「フィガロの結婚」（演奏会形式）伯爵夫人役にて出演。産経新聞社主催第40回なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。第23回摂津音楽祭リトルカメリアコンクール奨励賞受賞。第40回イタリア声楽コンコルソファイナリスト。

■ソプラノ　川田　理紗（かわた　りさ）
大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学専攻科修了。在学中、『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリー役、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ役にて出演。奈良県新人演奏会出演。平成１６年度奈良県高等学校独唱・独奏コンクール優秀賞受賞。2008年和歌山音楽コンクール最高位、日本クラシック音楽コンクール全国大会大学の部第５位（１・２・３位なし）受賞。2012年日本演奏家コンクール特別賞受賞。
第94回関西歌劇団定期公演『カルメン』フラスキータ役にてデビュー。
湯浅契、湯浅順信、田中勉の各氏に師事。現在、関西歌劇団正団員。

■テノール　谷　浩一郎（たに　こういちろう）
大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。ドイツ州立マンハイム音楽大学修了。在学時、マンハイム国立歌劇場“ナクソス島のアリアドネ”でソリ　ストとして出演。ハイデルベルク市立歌劇場にて“ウィンザーの陽気な女房たち”のフェントン役で出演。オペラのみならず数々のバッハ・カンタータや教会音　楽でもソロを務める。2012年、カナダ・モントリオールに若き歌の親善大使として招聘され、演奏会に出演。現在、大阪音楽大学演奏員、関西歌劇団正団員、ドイツ・ワーグナー奨学財団奨学生。声楽を林誠氏に師事。谷浩一郎の公式ブログはこちらhttp://tenortani .exblog.jp/

■バリトン　　田中　勉（たなか　つとむ）
1990年文化庁派遣でウィーン国立音楽大学留学。第22回なにわ芸術祭新人奨励賞、第1回JSG国際歌曲コンクール聴衆特別賞。1999年、大阪府和泉市文化功労賞。第20回音楽クリティック・クラブ本賞。2004年度、大阪舞台芸術賞を受賞。2011年度、文化庁芸術祭優秀賞受賞。
大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。
現在大阪音楽大学教授、同大学院オペラ・歌曲研究室主任。日本シューベルト協会会員。
関西歌劇団理事。